

1. 単元目標

学校で働く人の紹介ポスターを作るために、学校で働く人のできることやできないことについて、具体的な情報を聞き取ったり話したりすることができる。また、アルファベットの太文字や小文字を活字体で書いたり、文字を識別し、その読み方を発音したりすることができる。

2. 言語材料 (下線は新出表現及び語句)

○ Can you ~? Yes, I can. No, I can't. I / You / He / She can / can't. ~. Who is this? This is ~. He / She is ~.

○ 動作など(sing, dance, swim, skate, eat, drink, cook, bake, clean, buy, ride, travel, study, teach, speak, listen, read, write, talk, draw, play)、楽器(recorder, harmonica, triangle, violin, drum, xylophone)、家族(mother, father, brother, sister)

[既出表現及び語句] 動作など(run, jump, go, turn) 、スポーツ、活字体(太文字、小文字)

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
話すこと [発表]	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 太文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

※本単元における「話すこと[発表]」「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。




4. 単元の評価規準








	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 動作の言い方や、Can you ~? Yes, I can. / No, I can't. She can / can't ~. He can / can't ~. などについて理解している。</p> <p>〈技能〉 動作の言い方や、Can you ~? Yes, I can. / No, I can't. She can / can't ~. He can / can't ~. など、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>学校で働く人の紹介ポスターを作る参考にするために、できることやできないことについて具体的な情報を聞き取っている。</p>	<p>学校で働く人の紹介ポスターを作る参考にするために、できることやできないことについて具体的な情報を聞き取るようしている。</p>
読むこと	<p>〈知識〉 アルファベットの活字体の太文字、小文字について理解している。</p> <p>〈技能〉 アルファベットの活字体の太文字、小文字を識別したり、その読み方を発音したりする技能を身に付けている。</p>	<p>アルファベットかたを覚えるために、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音している。</p>	<p>本単元の評価規準は「アルファベットかたを覚えるために、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音しようとしている。」となるが、年間を通して複数単元にまたがって評価を行う。</p>

5. 本単元における「聞くこと」「読むこと」の記録に残す評価場面

時	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1			
2			
3			
4			
5	(聞)登場人物の話を聞こう		
6	(聞)Who is he / she? クイズ	(聞)Who is he / she? クイズ	(聞)Who is he / she? クイズ
7			
8	(読) アルファベットかるたをしよう	(読) アルファベットかるたをしよう	(読) アルファベットかるたをしよう

6. 「聞くこと」「読むこと」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画(8 時間)

時	◆ 目標 【】 NEW HORIZON Elementary5 の活動 ○ 足立区オリジナルの活動	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	
1	<p>◆できることやできないことについて聞いて、おおよその内容を理解することができる。</p> <p>○Small Talk：好きなスポーツ</p> <p>○先生のできることやできないことを聞こう</p> <p>○Who am I? クイズ(動物)</p> <p>・can / can't を使って紹介される動物が何か当てる。</p> <p>○最終活動について知る</p> <p>【学び方みつけた！ 2】 p.36 アルファベット </p> <p>○アルファベットかるたを作ろう</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認し、目標の達成に向けて適時指導に反映させる。</p> <p>【指導のためのポイント例】 b d, h n, p q など似ているアルファベットについて、全体で確認させてから、「アルファベットかるたを作ろう」の活動をさせ、最終時に児童が自信をもって活動が行えるように継続的に指導する。</p>
2	<p>◆自分のできることを伝え合うことができる。</p> <p>【Let's Chant】 p.39 </p> <p>② I can swim.</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.39 </p> <p>・映像を視聴し、紙面の動物ができることを線で結ぶ。</p> <p>○できることを伝え合おう</p> <p>・PD p.7「スポーツ」、p.18「動作など(1)」、p.25「楽器」中から、自分が出来ることを選んで、ペアで伝え合う。</p> <p>○アルファベットかるたを作ろう</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認し、目標の達成に向けて適時指導に反映させる。</p> <p>【指導のためのポイント例】 「Let's Watch and Think」では動画を視聴し、分かったことを確認する際、答え合わせだけにしないように、I can / can't ~.の表現を何度も繰り返し使い、児童とやり取りをしながら進め、「できることを伝え合おう」につなげる。</p>

<p>3</p>	<p>◆できるかどうか尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。</p> <p>○Small Talk：できるスポーツ</p> <p>【Let's Chant】 p.39 </p> <p>② I can swim.</p> <p>【Let's Listen 1】 p.40 </p> <p>・登場人物の話を聞いて、できることに○、できないことに△をつける。</p> <p>【Let's Chant】 p.39 </p> <p>③ Can you swim fast?</p> <p>【Let's Try 2】 p.40</p> <p>先生ができるかできないかを予想して、インタビューしよう</p> <p>○ペアでできるかできないかを予想して、インタビューしよう</p> <p>・ペアで、5年 Unit 4 Lesson 3 ワークシート④にある動作ができるか予想し、できるかどうか尋ねたり答えたりする。友達のできることには○、できないことには△を書く。</p> <p>○アルファベットかるたを作ろう</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認し、目標の達成に向けて適時指導に反映させる。</p> <p>【指導のためのポイント例】</p> <p>「Let's Listen 1」の活動の中で、Can you ~? の表現を使って児童とやり取りをし、児童の Yes / No という答えを Yes, you can. / No, you can't. に置き換えるなどして尋ねたり答えたりして表現に十分に慣れ親しませてから、インタビュー活動をさせる。</p>
<p>4</p>	<p>◆第三者ができることやできないことについて聞いて、おおよその内容を理解することができる。</p> <p>【ショートコント】 p.38 「チラシの人」 </p> <p>【Let's Chant】 p.39 </p> <p>② I can swim.</p> <p>③ Can you swim fast?</p> <p>○いろいろな人のできること</p> <p>・指導者の話を聞いたり、質問に答えたりして、he / she の使い方を理解する。</p> <p>【Let's Listen 1】 p.40 </p> <p>・前時に聞いた内容を、指導者とやり取りをしながら確認する。</p> <p>・he / she の使い方を知る。</p> <p>○Who is he / she? クイズ</p> <p>・he / she を使って紹介される、有名人やキャラクターなどについて聞いて、誰かを予想して答える。</p> <p>○アルファベットかるたを作ろう</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認し、目標の達成に向けて適時指導に反映させる。</p> <p>【指導のためのポイント例】</p> <p>「Let's Listen 1」や「Who is he / she?」クイズで、指導者は、What can he / she do? He / She can ~. 児童の発話を促しながら he / she をやり取りの中で繰り返し聞かせたり言わせたりする。</p>
<p>5</p>	<p>◆第三者ができることやできないことについての短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ることができる。</p> <p>できるかどうか尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。</p> <p>【Let's Chant】 p.39 </p> <p>④ She can sing well.</p> <p>○友達にできることをインタビューしよう</p> <p>・ペアで、5年 Unit 4 Lesson5&6 ワークシート④にある動作ができるか尋ねたり、答えたりする。友達のできることには○、できないことには△を書く。</p>	<p>本時では、「<u>聞くこと</u>」について記録に残す評価を行う。なお、「<u>読むこと</u>」については、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認し、目標の達成に向けて適時指導に反映させる。</p>

<p>○学校で働く人インタビューについて</p> <p>・本単元で学習している語句や表現を使って、第7時までに学校で働く人にインタビューしてくることを伝える。</p> <p>【Starting Out】 38-39</p> <p>登場人物の話を知ろう (エミリーの話 B・さくらの話 E)</p> <p>・エミリーとさくらの話を聞いて、それぞれの家族のことができることやできないことを聞き取り、5年 Unit 4 Lesson5 ワークシート図に記入する。</p> <p>○アルファベットかるたを作ろう</p>	聞		<p>「聞くこと」の記録に残す評価</p> <p>◎知識・技能 登場人物の話を知り、登場人物の家族のことができることやできないことについて聞き取る技能を身につけている。 〈行動観察・ワークシート分析〉</p> <p>【指導のためのポイント例】</p> <p>「友達にできることをインタビューしよう」の活動で日本語になってしまっている場合は一度活動を止めて、全体で表現を確認したり、良いペアの例を見せたりするなどして、再度活動を行う。</p>
<p>6 ◆学校で働く人の紹介ポスターを作る参考にするために、できることやできないことについて具体的な情報を聞き取ることができる。できることやできないことについてクイズを出し合うことができる。</p> <p>【Let's Chant】 p.39</p> <p>④ She can sing well.</p> <p>○友達 Who is he? Who is she? クイズ</p> <p>・第3時に「友達にインタビューしよう」で5年 Unit 4 Lesson5&6 ワークシート図をもとに、クイズを出したり、答えたりする。</p> <p>○Who is he? Who is she? クイズ</p> <p>・Who is he / she ? クイズの答えや、その人ができることとできないことなど聞き取れたことを5年 Unit 4 Lesson6 ワークシート図に記入する。</p> <p>・5年 Unit 4 Lesson 6 ワークシート図を集めた後に、デジタル教材を使用し、写真や動画で答えとなる人物を見て答え合わせをする。</p> <p>○アルファベットかるたを作ろう</p>	聞	聞 聞 聞	<p>本時では、「聞くこと」について記録に残す評価を行う。なお、「読むこと」については、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認し、目標の達成に向けて適時指導に反映させる。</p> <p>「聞くこと」の記録に残す評価</p> <p>◎知識・技能 先生の話を知り、学校で働く先生や有名な人のことができることやできないことについて、聞き取る技能を身につけている 〈行動観察・ワークシート分析・振り返りシート記述分析〉</p> <p>◎思考・判断・表現 学校で働く人の紹介ポスターを作る参考にするために、できることやできないことについて具体的な情報を聞き取っている。 〈行動観察・ワークシート分析・振り返りシート記述分析〉</p> <p>◎主体的に学習に取り組む態度 ・学校で働く人の紹介ポスターを作る参考にするために、できることやできないことについて具体的な情報を聞き取ろうとしている。 〈行動観察・ワークシート分析、振り返りシート記述分析〉</p> <p>・児童が聞き取る様子やワークシート・振り返りシートの記述を分析し評価の記録に残す。</p> <p>【指導改善のためのポイント例】</p> <p>前時の聞き取りの状況に応じて、「Let's Chant」を活用し、本単元で扱う語句や表現を十分に聞かせたり言わせたりして、「Who is he / she ? クイズ」につなげたい。クイズを出題する際は、児童が親しみのある先生や関心のある有名人を選ぶ。</p>


7	<p>◆学校で働く人紹介ポスターを作ることができる。</p> <p>○Small Talk：先生の身近な人のできることやできないこと</p> <p>【Let's Chant】 p.39</p> <p>④ She can sing well</p> <p>○学校で働く人紹介ポスターを作ろう</p> <p>○学校で働く人を紹介しよう</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。 児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認し、目標の達成に向けて適時指導に反映させる。</p>		
				<p>【指導改善のためのポイント例】</p> <p>「学校で働く人を紹介しよう」では、再度、指導者が紹介例を見せ、本単元で学習してきた語句や表現を使って児童が自信をもって紹介ができるようする。</p>
8	<p>◆アルファベットかるたをするために、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音している。</p> <p>○アルファベットかるたを作ろう</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>○アルファベットかるたをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机の上にアルファベットかるたを置く。 ・読み手を一人決める。 ・読み手はアルファベット一覧表からアルファベットをひとつ選んで、言う。 <p>※ここでは読むことの記録に残す評価を行うため、読むかるたの数を決めたり、時間で区切ったりして、進め方を工夫し、全員が読み手になるようにする。</p> </div>	読	読	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「読むこと」の記録に残す評価</p> <p>◎知識・技能 アルファベットの活字体の大文字や小文字を識別したり、その読み方を発音したりしている。 〈行動観察〉 ・児童の行動観察から、評価の記録を残す</p> <p>◎思考・判断・表現 アルファベットかるたをするために、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音している。 〈行動観察、振り返りシート記述分析〉</p> <p>◎主体的に学習に取り組む態度 ・アルファベットかるたをするために、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音しようとしている。 〈行動観察、振り返りシート記述分析〉 ・アルファベットを、発音している様子を観察し、評価の記録に残す。 ・振り返りシートの記述を分析し、評価の記録に残す。</p> </div>


5年 Unit 4-Lesson 1 単元名 He can bake bread well. できること・身近な人紹介 1/8 時間

目標 できることやできないことについて聞いて、おおよその内容を理解することができる。

準備 教師用絵カード(スポーツ、動作など(1)、楽器)、クイズの答えとなる動物の絵や写真など、動物の絵や写真、デジタル教材、教科書
アルファベットかたしシート、振り返しシート

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価規準(評価方法)	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。	
8分	<p>○Small Talk：好きなスポーツ</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>例</p> <p>T: I like baseball. I like to watch baseball games. I want to go to Tokyo Dome to watch baseball games. Do you like baseball?</p> <p>S1: No, I don't.</p> <p>T: OK. What sport do you like?</p> <p>S1: I like volleyball.</p> <p>T: Oh, you like volleyball. Are you a good volleyball player?</p> <p>S1: Yes, I am.</p> </div>	<p>・指導者の好きなスポーツについて話す。一方的に話さず、児童の好きなスポーツを尋ねたり、答えさせたりしながら、児童とやり取りを行う。</p>	
8分	<p>○先生のできることやできないことを聞こう</p> <p>・指導者の話を聞いて、おおよその内容を推測して聞く。</p> <p>・指導者の話に反応したり、質問に答えたりする。</p> <p>・他の児童が答えるのを聞いて、その意味を推測する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>例</p> <p>T: I'll talk about what I can do. (ジェスチャーをしたり実際に歌ったりしながら)</p> <p>I can sing well. I can cook too. I can cook curry and rice.</p> </div>	<p>・指導者のできることやできないことを、ジェスチャーを付けたり、実際にやって見せたりして紹介し、児童が推測したら、can や can't の意味を捉えられるようにする。</p> <p>・できることやできないことをジェスチャーなどで表現しながら、アドバイザー(AD)や児童に Can you ~?で尋ねてやり取りをする。</p> <p>・それぞれの児童の特徴を捉えて、S1は走るのが速い、S2は野球やサッカーなどが上手い、S3はピアノが弾けるなどと紹介すると、児童はより理解しやすい。</p>	<p>・教師用絵カード(スポーツ、動作など(1)、楽器)</p>
	<p>・本時のねらいと流れを確認する。</p>	<p>・本時のねらいと流れを児童と確認する。</p>	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> めあて：できること・できないことの言い方を知ろう </div>			

7分	<p>○Who am I? クイズ(動物)</p> <p>・can / can't を使って紹介される動物が何か当てる。</p>	<p>・動物の Who am I? クイズをすることを告げ、指導者は動物のどれかになりきって、その動物ができることやできないことを紹介し、児童にどの動物かを尋ねる。 (指導者は複数の動物の絵や写真を先に貼っておいてもよい。)</p>	<p>・クイズの答えとなる動物の絵や写真など</p>
<p>例</p> <p>T: Let's do Who am I quiz.</p> <p>Listen to the hints and guess what animal I am.</p> <p>Quiz 1. I can't fly. I can climb a tree. I can jump from tree to tree. Who am I? (Answer: Monkey)</p> <p>Quiz2. I can swim. I can jump. I can sing. Who am I? (Answer: Frog)</p> <p>Quiz3. I can jump. I can kick. I can punch. Who am I? (Answer: Kangaroo)</p> <p>Quiz4. I can't run fast. I can sing. I can fly. Who am I? (Answer: Bird)</p> <p>Quiz5 I can't walk fast. I can't run fast. I can swim. (Answer: Turtle)</p>			
2分	<p>○最終活動について知る</p> <p>・最終活動では、学校で働く人の紹介ポスターを作り、学校で働く人を紹介することを伝える。</p>	<p>・最終活動では、学校で働く人にできることやできないことについてインタビューをして、学校で働く人の紹介ポスターを作成し、学校で働く人を紹介することを伝える。</p>	
5分	<p>【学び方みつけた！ 2】 p.36</p> <p>アルファベット </p> <p>・大型提示装置(スクリーン)にある看板や身のまわりにはさまざまなアルファベットがあることを知る。</p>	<p>・大型提示装置(スクリーン)にある看板や身のまわりのアルファベットを見て、身のまわりにはさまざまなアルファベットがあることを知らせる。</p>	<p>・デジタル教材</p> <p>・教科書</p>

<p>10分</p>	<p>○アルファベットかるたを作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人グループでアルファベットかるたを作成し、第8時にアルファベットかるたをすることを伝える。 ・グループで協力して、「アルファベットかるたシート」を線で切り取る。 ・一人一文字、担当する。 ・その文字から始まる英語を探す。 ・アルファベットかるたに、その英語を書き写したり、絵を描いたりする。 ・本時完成したアルファベットかるたと、未完成のアルファベットかるたを分けて保管する 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日から毎時間、4人グループで身のまわりにあるA-Zで始まる英語を探し、グループで1セットのアルファベットかるたを作成することを伝える。 ・第8時にグループで作成するアルファベットかるたを使って、かるたをすることを伝える。 ・グループで一枚、「アルファベットかるたシート」を配布する。 ・「アルファベットかるたシート」を線で切り取らせる。 ・一人一文字、を担当させる。 ・その文字から始まる英語を探させる。 <p>例 <u>C</u>ampus, <u>E</u>nglish, <u>J</u>apan, <u>M</u>ono</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットかるたに、その英語を書き写したり、絵を描いたりさせる。 <p>例 S1が見つけた英語→Japan</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・本時完成したアルファベットかるたと、未完成のアルファベットかるたを分けて保管させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットかるたシート(厚紙や拡大印刷をする)
<p>3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りシートに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに記入させ、めあてを達成できたかどうか振り返る時間をもつ。また、「今後の見通し」について記入させておき、単元終末に「主体的に学習に取り組む態度」の観点で記録に残す評価をする際の参考とする。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート